



2024年6月14日

各位

会社名 H E R O Z 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 林 隆 弘
(コード番号:4382 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 C F O 森 博 也
(TEL 03-6435-2495)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年4月期第4四半期の連結決算において、特別損失としてのれんの減損損失を、また2024年4月期第4四半期の個別決算において、特別損失として関係会社株式評価損を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

グループ会社である株式会社ストラテジット（以下、「ストラテジット」という。）に関して、連結決算で計上していたのれんについて、減損の兆候が認められ、改めて事業計画等を精査し当該のれんに係る回収可能性を検討した結果、連結決算において特別損失として減損損失を計上することとなりました。当該のれんの減損損失の金額は、184,966千円となります。

また、当該のれん減損損失の計上に伴い、個別決算においても、特別損失として関係会社株式評価損 359,594千円を計上しております。ただし、関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

ストラテジットについては、急激に成長する SaaS 市場において、「ストラテジットが保有する SaaS 導入や連携に関するドメインナレッジ」×「当社が保有する AI 開発ノウハウ」を通じて事業成長・市場成長を推進するべく、2022年8月に株式取得・グループ会社化を行いました。その後、営業・技術・マネジメント等の面で情報連携・コミュニケーションを行い、事業成長・グループシナジーを追求してまいりました。ストラテジットは一定の業績変動を経ながらも、事業基盤の強化に努め、また2024年5月には、SaaS 間連携プロダクトである「JOINT iPaaS for SaaS」をリリースいたしました。現在は、従来の SaaS 導入支援や、SaaS 間連携開発のソリューション事業から、SaaS ベンダー向け連携プラットフォーム「JOINT iPaaS for SaaS」事業によるリカーリング型事業モデルへの展

開を行っている途上であり、プロダクトの拡販に向けた営業人員やマーケティング費用を先行的に投資していくステージであります。

そのため、数年間は費用が先行していく事業モデルへの転換を進めていることから、当社が有するストラテジック社とのれんについて減損の兆候が認められ、減損損失の認識要否を判定した結果、2024年4月期において、のれんの減損損失を計上することとなりました。また、連結決算における当該のれん減損損失の計上に伴い、個別決算においても、関係会社株式評価損を計上することとなりましたが、前述のとおり関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結決算上の影響はのれん減損損失のみとなります。

SaaS市場は今後も拡大を続けると見込まれており、生成AI等も急激に広まっていく中で、各種SaaS間のシームレスな連携は今後も重要なニーズ・トレンドとなるものと想定しております。今後、「JOINT」によるプラットフォームの拡販・機能拡充等を通じて、ストック型ビジネスとしての更なる事業成長・ARR拡大を目指してまいります。

2. 業績に与える影響について

上記の特別損失（減損損失）については、本日公表いたしました「2024年4月期決算短信〔日本基準〕連結」に反映しておりますので、詳細についてはそちらをご参照ください。

今後も、「JOINT iPaaS for SaaS」をフルに活用し事業成長を目指すとともに、引き続きグループ全体でシナジーを追求し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上